

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

1. ご審議いただく案件

名称【申請者】	使用等の内容	検討状況		承認の状況			
		農作物 又は 昆虫 分科会	総合 検討会	カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場 又は 隔離飼育	一般利用	食品	飼料
1 チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ (改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>bar</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102 × 15985 × MON88701 × MON88913, OECD UI: SYN-IR102-7 × MON-15985-7 × MON-88701-3 × MON-88913-8) 並びに当該ワタの分離系統に含まれる組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 8月4日 9月1日	2015年 12月21日	○	—	—	—
2 チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>aad-12</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) ((281 × 3006) × COT102 × DAS1910, OECD UI: (DAS-24236-5 × DAS-21023-5) × SYN-IR102-7 × DAS-81910-7) 並びに当該ワタの分離系統に含まれる組合せ 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 10月5日 11月6日	2015年 12月21日	○	—	—	—
3 チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> L.) Iltis (MON89034 × <i>B.t.</i> <i>Cry1F</i> maize line 1507 × NK603 × MIR162 × DAS40278, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-00603-6 × SYN-IR162-4 × DAS-40278-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に含まれる組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 10月5日 11月6日	2015年 12月21日	○	—	—	—
4 スギ花粉ポリペプチド含有イネ (<i>GluA2-F1</i> , <i>GluB1-F2</i> , <i>GluC-F3</i> , <i>SH-Cry j 2</i> , 改変 <i>ALS</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (OsCr11) 【国立研究開発法人農業生物資源研究所】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 10月5日 11月6日	2015年 12月21日	—	—	—	—
5 青色蛍光タンパク質網糸生産カイコ (<i>HC-Sirius</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GN13×GCS13) 【国立研究開発法人農業生物資源研究所、群馬県蚕糸技術センター】	隔離飼育区画における幼虫の飼育 (3齢幼虫期以降から繭の形成まで) 並びに繭の生産、保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 8月24日 10月19日 11月30日	2015年 12月21日	—	—	—	—
6 橙色蛍光タンパク質網糸生産カイコ (<i>HC-mKO</i> , <i>Bombyx mori</i>) (GN2×GCS2) 【国立研究開発法人農業生物資源研究所、群馬県蚕糸技術センター】	隔離飼育区画における幼虫の飼育 (3齢幼虫期以降から繭の形成まで) 並びに繭の生産、保管、運搬、不活化処理及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2015年 10月19日 11月30日	2015年 12月21日	—	—	—	—

注1: 「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「—」は未承認であることを示す。

また、農作物の「隔離ほ場」欄における「○」は、隔離ほ場試験が不要と判断されたものであることを示す。

注2: 「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「—」は未確認であることを、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。

ただし、「—」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

・チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ (改変 *vip3A*, 改変 *cry1Ac*, 改変 *cry2Ab2*, 改変 *dmo*, *bar*, 改変 *cp4 epsps*, *Gossypium hirsutum* L.) (COT102 × 15985 × MON88701 × MON88913, OECD UI: SYN-IR102-7 × MON-15985-7 × MON-88701-3 × MON-88913-8) 並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1 20頁 ワタの 番号27	チョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>vip3A</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102, OECD UI: SYN-IR102-7) 【シンジエンタジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2007	2012	2012	2012
2	参考資料1 18頁 ワタの 番号4	チョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (15985, OECD UI: MON-15985-7) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	○	2004	2002	2003
3	参考資料1 20頁 ワタの 番号34	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>dmo</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701, OECD UI: MON-88701-3) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2012	2015	2014	2015
4	参考資料1 18頁 ワタの 番号9	除草剤グリホサート耐性ワタ (<i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913, OECD UI: MON-88913-8) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2004	2006	2005	2006

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「－」は未承認であることを示す。また、「隔離ほ場」欄における「○」は、隔離ほ場試験が不要と判断されたものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「－」は未確認であることを示す。ただし、「－」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アシルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ(改変*cry1F*, 改変*cry1Ac*, 改変*vip3A*, *pat*, 改変*aad-12*, *Gossypium hirsutum* L.) ((281×3006)×COT102×DAS1910, OECD UI:(DAS-24236-5×DAS-21023-5)×SYN-IR102-7×DAS-81910-7) 並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1 19頁 ワタの 番号11	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ワタ (<i>cry1F</i> , <i>cry1Ac</i> , <i>pat</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (281×3006, OECD UI: DAS-24236-5×DAS-21023-5) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	食用又は飼料用に 供するための使 用、保管、運搬及 び廃棄並びにこれ らに付随する行為	○	2006	2005	2006
2	参考資料1 19頁 ワタの 番号16	チョウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>vip3A</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102, OECD UI: SYN-IR102-7) 【シンジェンタジャパン株式会社】	食用又は飼料用に 供するための使 用、保管、運搬及 び廃棄並びにこれ らに付随する行為	2007	2012	2012	2012
3	参考資料1 20頁 ワタの 番号25	除草剤アシルオキシアルカノエート系及びグルホ シネート耐性ワタ (改変 <i>aad-12</i> , <i>pat</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (DAS1910, OECD UI:DAS-81910-7) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	食用又は飼料用に 供するための使 用、保管、運搬及 び廃棄並びにこれ らに付随する行為	2012	2015	2014	2015

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。また、「隔離ほ場」欄における「○」は、隔離ほ場試験が不要と判断されたものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未確認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

・チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (*cry1A.105*, 改変 *cry2Ab2*, 改変 *cry1F*, 改変 *vip3A*, *pat*, 改変 *cp4 epsps*, 改変 *aad-1*, *Zea mays* subsp. *mays* (L.) Iltis) (MON89034×*B.t.* Cry1F maize line 1507×NK603×MIR162×DAS40278, OECD UI: MON-89034-3×DAS-01507-1× MON-00603-6×SYN-IR162-4×DAS-40278-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ (既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)

名称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1 10頁 トウモロコシの番号 39	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON89034, OECD UI: MON-89034-3) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2006	2008	2007	2007
2	参考資料1 8頁 トウモロコシの番号10	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (<i>cry1F</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (<i>B.t.</i> Cry1F maize line 1507, OECD UI: DAS-01507-1) 【デュポン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	○	2005	2002	2003
3	参考資料1 8頁 トウモロコシの番号5	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (<i>cp4 epsps</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (NK603, OECD UI: MON-00603-6) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	○	2004	2001	2003
4	参考資料1 11頁 トウモロコシの番号 49	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4) 【シンジェンタジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2007	2010	2010	2010
5	参考資料1 14頁 トウモロコシの番号 71	アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ (改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DAS40278, OECD UI: DAS-40278-9) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2009	2012	2012	2012

注1：「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。また、「隔離ほ場」欄における「○」は、隔離ほ場試験が不要と判断されたものであることを示す。

注2：「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未確認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。